

お客様へ

- 施工は必ず専門業者へ依頼してください。
- 本取扱説明書は、大切に保管しておいてください。
- ご不明な点は、巻末に記載されている営業窓口へお問い合わせください。



施工業者様へ

- 施工前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。





1.はじめにお読みください(正しく安全に使用いただくために)

本製品は、防火区画貫通部耐火措置工法部材です。それ以外の用途には使用しないでください。

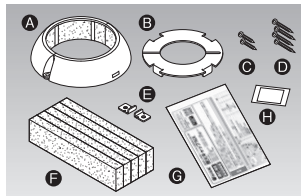
■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があります。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性があります。

■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

 警告	<p>国土交通大臣認定書の仕様に基づき正しく施工してください。</p> <p>正しい施工を行わないと火災時に延焼のおそれがあります。</p> <p>国土交通大臣認定書については、右記のQRを確認してください。</p>	
 注意	作業時は、作業用手袋などを着用してください。	国土交通大臣認定書
お願い	<p>※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 右記のQRより適用範囲概要を確認してください。 ● 中空施工には板厚0.25mm以上の鋼製スリーブが必要です。 ● サイズ選定の際には占積率および金具最小内径を共に満たすことを確認してください。 ● アダプターは、アダプター内径以下の配管に対して必ず使用してください。(床貫通の場合) ● 区画貫通部では配管などが動かないように近傍でしっかりと固定してください。不十分な場合はパテにすぎ間が生じたり、パテが落下する可能性があります。耐火性能を発揮できません。とくに縦引きの冷媒管の場合は、配管長の中央部に「パイブロックTK」を使用して配管を支持してください。 ● 屋外で使用する場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。 ● 合成スラブ貫通部に使用する場合は、所轄官公庁へ相談してください。 	

2.仕様



■セット内容

記号	部品名	材質	数量
A	耐火キャップNX金具(耐熱シールIPJ入り)	SGC	1
B	アダプター	SGC	1
C	コンクリートタッピングビスM4×25	ユニクロ処理鉄材	2
D	石こうボード用ビスM4×40	ラสบート	4
E	中空壁用固定金具	SGC	2
F	熱膨張性耐熱シールIPNX	耐熱シール	1
G	取扱説明書	—	1
H	国土交通大臣認定品表示シール	—	1

■寸法表

※部品CとH、DとEは、それぞれ同じポリ袋に入っています。

型番	適合貫通穴呼び径(穴径)	寸法(mm)					パテ型番
		φA	φB	C	φD	E	
IRC-75NX	75(φ85)以下	127	82	118	45	145	IPNX-75
IRC-100NX	100(φ110)以下	152	107	143	65	170	IPNX-100
IRC-125NX	125(φ135)以下	178	133	169	85	196	IPNX-125
IRC-150NX	150(φ160)以下	203	158	194	105	221	IPNX-150



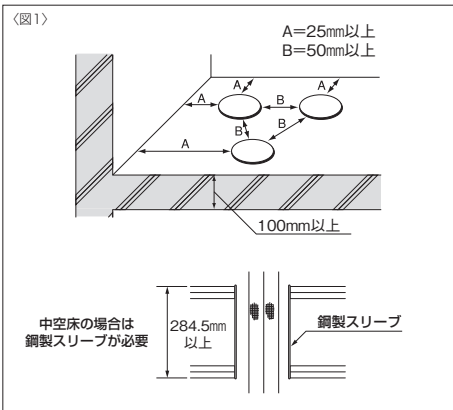
3. 床 施工手順(床上) (止水スリーブ使用時を除く)

△ 止水スリーブ使用時の施工手順は、止水アダプター(別売)の取扱説明書を確認してください。

1. 貫通穴を設ける

穴間ピッチを考慮のうえ、製品サイズに適合した貫通穴を設けてください。(図1)

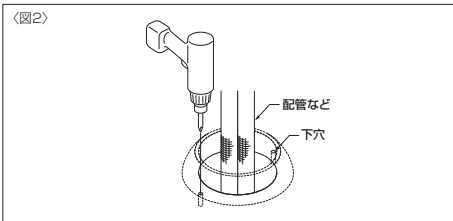
- ① 耐火キャップNXは開閉構造になっているため、作業スペースには余裕を取ってください。
- ② 適合貫通穴径はP1の寸法表を参照してください。
- ③ 中空床の場合は板厚0.25mm以上の鋼製スリーブを入れてください。



2. 下穴(金具固定用)を設ける (コンクリートの場合)

耐火キャップNXを、一度貫通穴に合わせ、一度位置決めをしてください。金具を取り除いた後、φ3.4×25Lの下穴を設けてください。(図2)

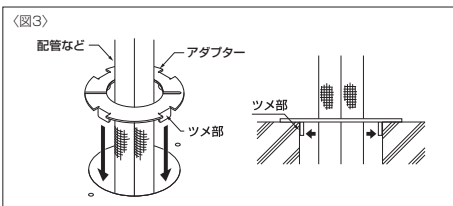
- ① ビス穴ピッチは、P1の寸法表を参照してください。
- ② 耐火キャップNXは、貫通穴の中心に合わせてください。



3. アダプターの取り付け

配管がアダプター内径よりも小さい場合は、パテ落下防止のため、必ず、貫通穴にアダプターを挿入し、取り付けてください。(図3)

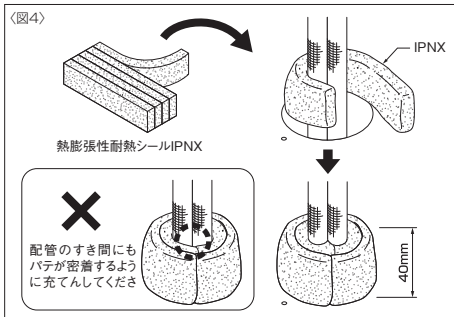
- ① 貫通穴内面にツメ部が当たるようにアダプターを手で広げて固定してください。



4. 配管へのパテ巻き付け

配管に対して付属の熱膨張性耐熱シールIPNXを図のように床面から高さ40mmになるように最大適合貫通穴径まで1周以上巻き付けて、盛り付けておきます。(図4)

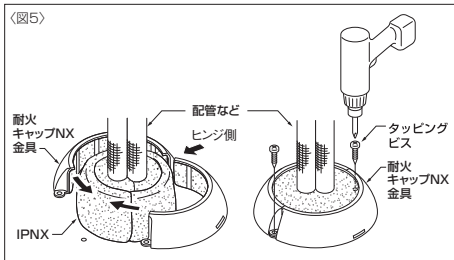
- ① 配管のすき間にもパテが密着するように注意して、充てんしてください。



5. 耐火キャップNXの取り付け

耐火キャップNXの金具を開き、配管にはめ込んで、付属のM4コンクリートタッピングビスで取り付けてください。(図5)

- ① ビス止めを金具のヒンジ側から行えば(反対側の穴は少し大きい)ため)取り付けやすくなります。
- ② 金具を取り付ける前に付属のパテ(耐熱シール材IPJ:象牙色)が金具にきちんと収まっているか確認して袋に入った状態で取り付けてください。
- ③ 耐熱シール材IPJを固定している金具(脚)の角度は0°(垂直)～フタ金具側へ傾斜しています。
- ④ 金具のヒンジ部と開口端部はパテが入りにくいので手でしっかりと充てんしてください。
- ⑤ 最大配管で施工する場合は配管と金具が接近しますので、その部分のパテ厚を調整してから金具を取り付けてください。

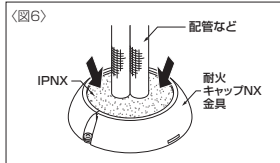


6. 仕上げ

残りの熱膨張性耐熱シールIPNXを全て金具内部に充てんし、金具に面一になるように仕上げで完成です。(図6)

- ① 配管周囲を(上から)押し過ぎると、IPNXが下側にはみ出して落下するおそれがありますので、金具内部へ押し広げる要領でIPJパテ袋に密着するように仕上げてください。

- ② 床下からも仕上げれば、より確実です。
- ③ IPNXが不足する場合には、別売の熱膨張性耐熱シールIPNXを別途購入ください。

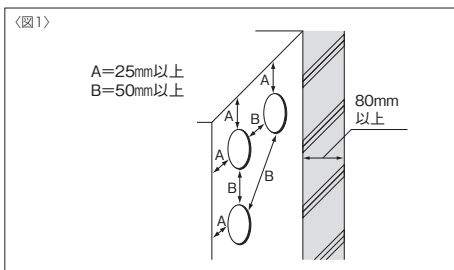


4. 壁 施工手順 (ALC、コンクリート)

1. 貫通穴を設ける

穴間ピッチを考慮のうえ、製品サイズに適合した貫通穴を設けてください。〈図1〉

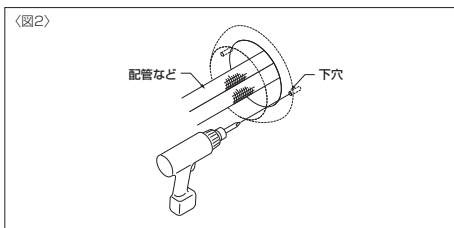
- ① 耐火キャップNXは開閉構造になっているため、作業スペースには余裕を取ってください。
- ② 適合貫通穴径はP1の寸法表を参照してください。



2. 下穴(金具固定用)を設ける

耐火キャップNXを、一度貫通穴に合わせて、下穴の位置決めをしてください。金具を取り除いた後、φ3.4×25Lの下穴を設けてください。〈図2〉

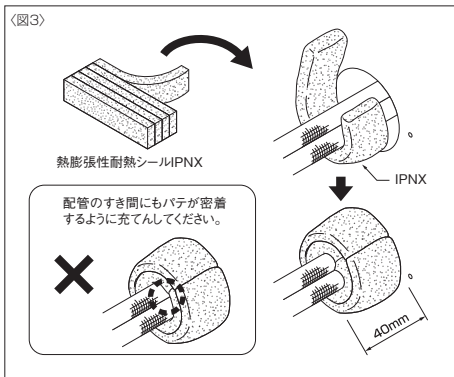
- ① ビス穴ピッチは、P1の寸法表を参照してください。
- ② 耐火キャップNXは、貫通穴の中心に合わせてください。



3. 配管へのパテ巻き付け

配管に対して付属の熱膨張性耐熱シールIPNXを図のように壁面から高さ40mmになるように最大適合貫通穴径まで1周以上巻き付けて、盛り付けておきます。〈図3〉

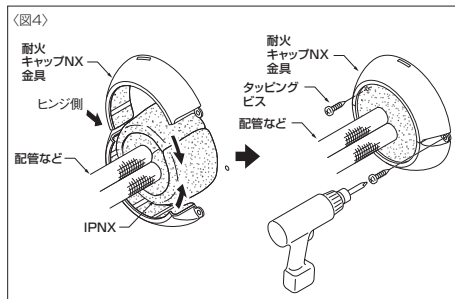
- ① 配管のすき間にもパテが密着するように注意して、充てんしてください。



4. 耐火キャップNXの取り付け

耐火キャップNXの金具を開き、配管にはめ込んで、付属のM4コンクリートタッピングビスで取り付けてください。〈図4〉

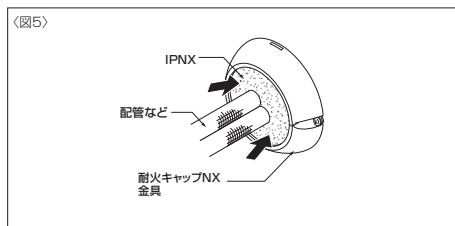
- ① ビス止めを金具のヒンジ側から行えば(反対側の穴は少し大きいいため)取り付けやすくなります。
- ② 金具を取り付ける前に付属のパテ(耐熱シール材IPJ:象牙色)が金具にきちんと収まっているか確認して袋に入った状態で取り付けてください。
- ③ 耐熱シール材IPJを固定している金具(脚)の角度は0°(垂直)～フタ金具側へ傾斜しています。
- ④ 金具のヒンジ部と開口端部はパテが入りにくいので手でしっかりと充てんしてください。
- ⑤ 最大配管で施工する場合は配管と金具が接近しますので、その部分のパテ厚を調整してから金具を取り付けてください。



5. 仕上げ

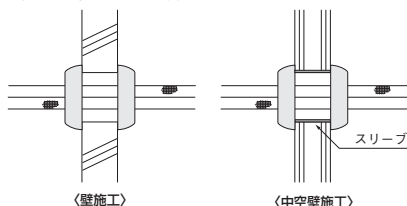
残りの熱膨張性耐熱シールIPNXを全て金具内部に充てんし、金具に面一になるように仕上げて完成です。〈図5〉

- ① 配管周囲を(表側から)押し過ぎると、IPNXが裏側にはみ出して落下するおそれがありますので、金具内部へ押し広げる要領でIPJパテ袋に密着するように仕上げてください。
- ② 壁裏側からも仕上げれば、より確実です。
- ③ IPNXが不足する場合には、別売の熱膨張性耐熱シールIPNXを別途購入ください。



〈両側施工〉

ALC壁、コンクリート壁、中空壁には両側施工が可能です。
※中空壁の施工はP4を確認してください。

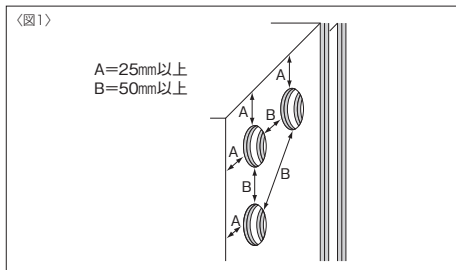


5. 中空壁／片壁 施工手順（中空壁、片壁）

1. 貫通穴開口

穴間ピッチを考慮の上、製品サイズに適合した貫通穴を開口してください。〈図1〉

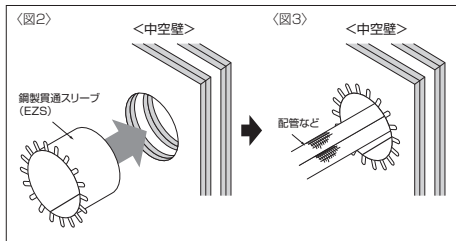
- ① 耐火キャップNX金具は開閉構造になっているため、作業スペースには余裕を取ってください。
- ② 適合貫通穴径はP.1の寸法表を参照してください。



2. スリーブ挿入

中空壁の場合は必ず壁厚幅のスリーブ（板厚0.25mm以上（別売の当社製品E.Z.S.）などを挿入してください。〈図2〉）片壁の場合は不要です。

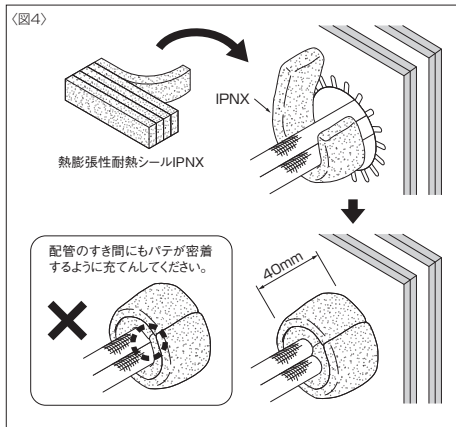
3. 配管作業 〈図3〉



4. 配管へのIPNXパテ巻き付け

配管に対して付属の熱膨張性耐熱シールIPNXを図のように壁面から高さ40mmになるように最大適合貫通穴径まで1周以上巻き付けて、盛り付けておきます。〈図4〉

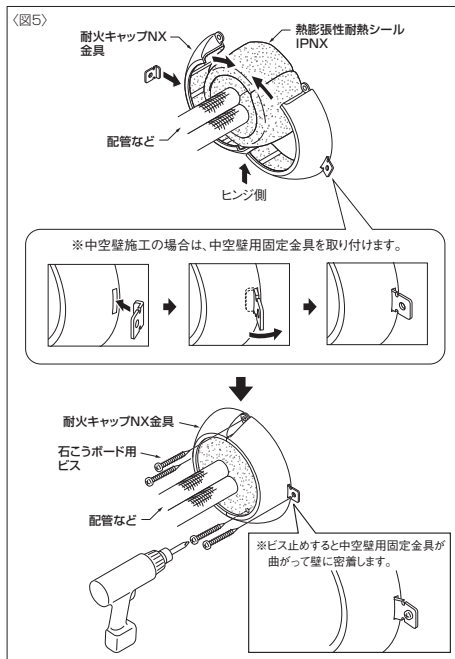
- ③ 配管のすき間にもパテが密着するように注意して、充て込んでください。



5. 耐火キャップNX金具の取り付け

耐火キャップNX金具の金具を開き、配管にはめ込んで、付属の石こうボード用ビスで取り付けてください。〈図5〉

- ④ ビス止めは、片壁施工は2箇所、中空壁施工の場合は中空壁用固定金具を取り付けて4箇所に行ってください。
- ⑤ ビス止めを金具のヒンジ側から行えば（反対側の穴は少し大きい）ため取り付けやすくなります。
- ⑥ 石こうボード用ビスを締め過ぎると、空回りの原因となりますので、注意してください。
- ⑦ 金具を取り付ける前に付属のパテ（耐熱シール材IPJ:象牙色）が金具にきちんと取まっているか確認してから取り付けてください。
- ⑧ 耐熱シール材IPJを固定している金具（脚）の角度は0°（垂直）～フタ金具側へ傾斜しています。
- ⑨ 金具のヒンジ部と開口端部はパテが入りにくいので手でしっかりと充て込んでください。
- ⑩ 最大配管で施工する場合は配管と金具が接近しますので、その部分のパテ厚を調整してから金具を取り付けてください。



6. 仕上げ

残りの熱膨張性耐熱シールIPNXをすべて金具内部に充てんし、金具に面一になるように仕上げて完成です。〈図6〉

- ⑪ 配管周囲を押し過ぎると、膨張性耐熱シールIPNXをが裏側にはみ出して落下するおそれがありますので、金具内部へ押し広げる要領でIPJパテ袋に密着するように仕上げてください。
- ⑫ IPNXが不足する場合には、別売の熱膨張性耐熱シールIPNXを別途ご購入ください。

